

品種解説：「まなむすめ」

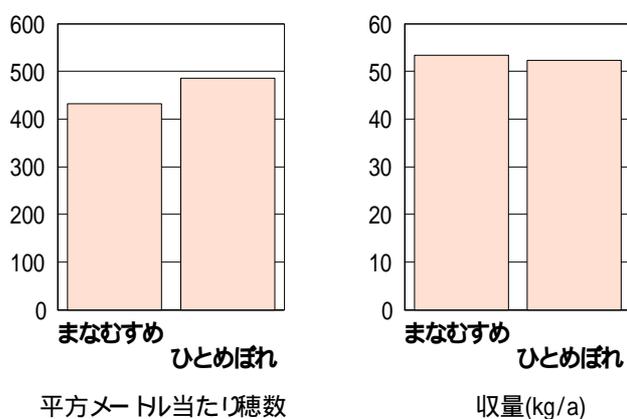
概要：本品種の障害型耐冷性は「ひとめぼれ」よりわずかに劣る“強”である。名前の意味は、“大切に大切に育てた可愛いわが娘をよろしくとの思い”を表現する。

1．来歴の概要

中生で良質、いもち病抵抗性の強い「チヨニシキ」を母とし、耐冷性極強、食味極良系統「東北 143 号」(後の「ひとめぼれ」)を父として、1988 年に宮城県古川農業試験場で交配し、薬培養手法で育成された。1993 年に「東北 152 号」の系統名が付けられ、1997 年に水稻農林 350 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「ひとめぼれ」「ササニシキ」よりやや短い。
- ・ 穂 長：「ひとめぼれ」「ササニシキ」よりやや長い。
- ・ 穂 数：「ひとめぼれ」「ササニシキ」より少ない(下図参照)。
- ・ 粒 大：「ひとめぼれ」「ササニシキ」よりやや大きい。
- ・ 千粒重：「ひとめぼれ」よりやや大きい。



3．生態的特性

- ・ 出穂期：「ひとめぼれ」「ササニシキ」と同程度。
- ・ 成熟期：「ひとめぼれ」並みであり、育成地では“中生の晩”である。
- ・ 収量性：「ひとめぼれ」「ササニシキ」に優り、「チヨニシキ」並みに多収である(上図参照)。
- ・ 耐倒伏性：「ひとめぼれ」「ササニシキ」より明らかに強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：“やや強”
- ・ 穂いもち抵抗性：“強”
- ・ 耐冷性：「ひとめぼれ」よりわずかに劣る。
- ・ 穂発芽性：「ひとめぼれ」並みである。

特 性	まなむすめ	ひとめぼれ
耐冷性	強	極強
耐倒伏性	やや強	やや弱
葉いもち抵抗性	やや強	やや弱
穂いもち抵抗性	強	中
穂発芽性	難	難

4．品質・食味特性

- ・玄米の光沢がよく、腹白、心白、乳白は「ササニシキ」より少なく、「ひとめぼれ」並みである。
- ・玄米の外観品質は「ササニシキ」より明らかに優り、「ひとめぼれ」並みの“上の中”である。
- ・アミロース含量は「ひとめぼれ」と同程度である。
- ・食味は「ササニシキ」より優り、「ひとめぼれ」に近い“上の中”である。

5．適地等

- ・東北中南部の平坦地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・葉いもちの抵抗性は穂いもちほど強くないので、葉いもちの発生を抑えるよう、適期防除に努める。
- ・「ひとめぼれ」等の対照品種に比べて穂数が少ないので、茎数および穂数の確保に努める。
- ・白葉枯病抵抗性が“やや弱”であり、常発地では栽培を避ける。

< 参考資料 >

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成9年8月）：平成9年農林水産省育成農作物新品种（夏作物・園芸作物）。